公民館情報

玉造公民館にリサイクル本の配布スペースができました

玉造公民館の１階ロビーに、市立図書館で除籍となったリサイクル本の配布スペースを設けました。このリサイクル本の配布スペースは、公民館が開館しているときは、常時開設しています。書棚にある本は、自由にお持ち帰りいただくことができます。皆さんの懐かしい、思い出の本があるかもしれません。

ロビー内には、休憩スペースもあります。読書の秋です。皆さん、ぜひ玉造公民館に足をお運びください。

なお、リサイクル本の配布は、麻生公民館、北浦公民館の図書室でも行っています。あわせてご利用ください。

【問】　玉造公民館　☎0299-55-0171

行方歴史探検 2024　7

行方市指定有形文化財（建造物）

八王子神社本殿

～名工 初代桜井瀬左衛門 作～

所在地:行方市行方字宮脇 944 番地

社伝によると、大同２（807）年に創建され、御祭神は国狭槌命（くにのさつちのみこと）で、古くから地域の崇敬を集めてきました。天正４（1576）年に社殿が焼失しましたが、元禄７（1694）年に再建されました。江戸時代には、流鏑馬（やぶさめ）などの神事が盛大に行われ隆盛を誇りました。本殿は、銅板葺三間社流造（どうばんぶきさんげんしゃながれづくり）で、令和２年の解体修理によって、本殿の雲肘木（くもひじき）に当時の名工で成田山新勝寺の三重塔（国指定重要文化財）等を手掛けた「大工棟梁　桜井瀬左衛門」の墨書が発見されました。これによって、建造物としての歴史的な価値が明らかになり、令和４年に行方市の有形文化財（建造物）に指定されました。案内板の QR コードから詳しい説明を視聴できますので、ご利用ください。

※麻生の文化２号（1969）、14 号（1982）、27 号（1996）、36 号（2005）、52 号（2021）（麻生町郷土文化研究会）、常陸の宮大工・桜井瀬兵衛（2010）、古建築研究会（一色史彦 著）を参考にしています。

【問】生涯学習課文化・社会教育グループ　☎0291-35-2111

はい、こちら行方市消費生活センター！

「アナログ回線に戻せば料金が安くなる」という勧誘にご注意を！！

【事例】

業者から電話があり「インターネットを利用しないのに、月々高い金額を払っているのはもったいない。光回線をアナログ回線に戻してはどうか」と勧誘され、承諾した。初期費用で約４万円を請求されてコンビニで支払ったあと、業者から再び電話があり「アナログ戻しの契約と一緒に補償サービスを締結している」と言われたが、そのようなサービスのことは聞いていないし、そもそも必要ない。解約を申し出たところ、高額の違約金を請求されてしまった。

【解説】

「アナログ回線に戻せば料金が安くなる」などと勧誘し、手続き代行やオプションサービスの料金として高額な請求をする、いわゆるアナログ戻しのトラブルが最近市内で増えています。以下のポイントをおさえておきましょう。

①勧誘を受けた事業者名と契約内容をしっかり確認し、必要ないと思ったらきっぱり断りましょう。

②「アナログ戻し」の手続き代行サービスや、生活サポートサービスなどを訪問販売や電話勧誘販売で契約した場合には、一定期間内であればクーリング・オフできる場合があります。

③光回線契約をアナログ回線に移行する手続きは、第三者に依頼する必要はなく、消費者自身でＮＴＴ東日本に申し込むことができます。

－　まずはお電話を！　－

【問い合わせ】行方市消費生活センター　☎0291−34−6446